



※電子配信しております。
紙面印刷・インク代などの経費削減に
ご協力ありがとうございます。

令和6年度 後期学校評価アンケート号
京都市立向島秀蓮小中学校
校長 太田 美佐和

《学校教育目標》 「他とつながる力」・「未来を拓く力」の育成～果敢に挑戦、知らない自分に会いに行け!～

1 2 月に行った学校評価アンケートの結果をまとめ、分析を行いましたのでお知らせします。

<保護者アンケートの結果より>

令和6年度学校評価アンケート(保護者)				
1	総括考査や単元テストは家庭学習の動機づけとして効果がありますか。	家庭学習の動機づけとして十分効果がある	家庭学習の動機づけとしてある程度効果がある	家庭学習の動機づけとしての効果はあまりない
		前期 20% 後期 24%	前期 58% 後期 56%	前期 18% 後期 18%
2	総括考査や単元テストにむけ、保護者としてお子さまにどのように関わっておられますか。	テスト前は子どもが学習に集中できるように配慮している	可能であれば子どもとともに学習している	子どもに学習への声かけをするようにしている
		前期 6% 後期 23%	前期 23% 後期 56%	前期 57% 後期 6%
3	家庭学習において、保護者としてお子さまにどのように関わっておられますか。	子どもが集中して取り組めるように配慮している	可能であれば子どもの質問に答えるようにしている	家庭学習が進むように子どもに声かけをしている
		前期 9% 後期 44%	前期 47% 後期 36%	前期 35% 後期 9%
4	地域とのつながりを重視した学習が展開されていると思いますか。	地域とのつながりを重視した学習が展開されている	地域とのつながりを重視した学習がある程度展開されている	地域とのつながりを重視した学習があまり展開されていない
		前期 18% 後期 21%	前期 63% 後期 64%	前期 15% 後期 12%
5	保護者として「生徒・保護者・地域・教職員」との幸せな学校を意識したり、考えたりすることがあった	生徒・保護者・地域・教職員にわたっての幸せな学校を意識したり、考えたりすることがあった	生徒・保護者・地域・教職員にわたっての幸せな学校を意識したり、考えたりすることがあった	生徒・保護者・地域・教職員にわたっての幸せな学校を意識したり、考えたりすることがなかった
		前期 11% 後期 15%	前期 49% 後期 52%	前期 30% 後期 26%
6	ピア交流活動等といった本校独自の取り組みが生徒の成長に効果があるものとなっていますか	十分効果がある	ある程度効果がある	効果はあまりない
		前期 30% 後期 30%	前期 63% 後期 64%	前期 7% 後期 5%
7	子どもにとって、学校は安心して過ごせる場所だと思いますか。	十分安心できる場所である	おおむね安心できる場所である	あまり安心できる場所ではない
		前期 25% 後期 25%	前期 68% 後期 68%	前期 5% 後期 5%
8	本校は生徒一人一人に丁寧に関わり合っていると感じますか。	十分寄り添っている	おおむね寄り添っている	寄り添っているとは思えない
		前期 20% 後期 22%	前期 68% 後期 64%	前期 10% 後期 11%
9	チーム担任制により、多くの教員に相談しやすくなったと思いますか	よくあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない
		前期 6% 後期 12%	前期 32% 後期 37%	前期 45% 後期 36%
10	本校の行事や取組は、小中一貫義務教育学校の特色を生かしていると思いますか。	十分生かしている	ある程度生かしている	あまり生かしていない
		前期 17% 後期 24%	前期 67% 後期 64%	前期 13% 後期 8%
11	本校では、教科担任制(教科交換を含む)を導入していますが、その効果はあると思いますか。	十分効果がある	ある程度効果がある	効果はあまりない
		前期 16% 後期 24%	前期 65% 後期 60%	前期 14% 後期 14%

「総括考査や単元テストにむけ、保護者としてお子さまにどのように関わっておられますか。」の項目では、前期(7月)に行った結果より「可能であれば子どもとともに学習している」「子どもに学習への声かけをするようにしている」の割合が大変高くなっていました。それだけでなく、「家庭学習において、保護者としてお子さまにどのように関わっておられますか。」の項目では、上記質問と同様「可能であれば子どもの質問に答えるようにしている」「家庭学習が進むように子どもに声かけしている」の割合が大変高くなっていました。これらの結果から保護者の皆様が子どもの学習に対して積極的に関わっていただいていることがわかり、学習成果の向上が期待できます。保護者の方が積極的に学習に関わることで、子どもの学習意欲が高まり、学習成果が向上することも確認されていますし、なにより、保護者の方の関わりは子どもの社会性や行動の発達にも大変良い影響を与えます。保護者は子どもにとっての重要なモデルであり、良き行動の手本となる存在です。保護者が日常の生活で倫理的な価値観や社会的なルールを実践し、子どもに教えることで、子どもの行動や価値観の形成に大きな影響をあたえます。また保護者の皆様が学校と連携し、協力関係を築くことで子どもは安心して学習できると考えます。今後とも協力よろしくお願い致します。

「チーム担任制により、多くの教員に相談しやすくなったと思いますか。」の質問項目に対して「よくあてはまる」「あてはまる」と回答された割合が前回(7月)に比べて高くなっていました。このアンケートの結果から、前期と比べると相談しやすくなったと感じている保護者の方が増えたのは、チーム担任制のシステムが少しずつではありますが、保護者の皆様にご理解いただいているのではないかと考えます。しかしながら、まだ相談しにくいと感じておられる保護者の方もおられるのも事実です。今年度より始めたチーム担任制が、間もなく1年がたとうとしております。誰もが初めてのことで教職員も日々改善に向けて試行錯誤しております。これからも引き続き生徒の声、保護者の声を聞き意見を反映しながら、より良いコミュニケーション環境を整えられるよう邁進してまいります。

4. 家庭・学校・地域との連携について			実現度（ベーシックステージ）				実現度（チームステージ）				実現度（ビジョンステージ）			
			よく出来て いる	大体出来て いる	あまり出来 ていない	出来ていな い	よく出来て いる	大体出来て いる	あまり出来 ていない	出来ていな い	よく出来て いる	大体出来て いる	あまり出来 ていない	出来てい ない
30	チーム担任制により、担任の先生が複数人いることで、クラスや学年が良くなったと感じる	前期	57%	25%	12%	6%	26%	41%	21%	12%	18%	50%	24%	8%
		後期	56%	32%	10%	3%	18%	58%	18%	6%	25%	47%	20%	8%
31	チーム担任制により、たくさんの先生に話がしやすくなったと感じる	前期	62%	25%	10%	3%	39%	34%	16%	11%	27%	49%	17%	7%
		後期	59%	26%	11%	3%	32%	41%	20%	7%	40%	46%	6%	8%
32	蓮花タイムなどで地域とのつながりを大切に学習を進められている	前期	67%	26%	6%	1%	44%	48%	6%	1%	26%	64%	10%	0%
		後期	65%	29%	4%	2%	42%	54%	3%	1%	24%	61%	14%	1%
33	地域の方や、見守り隊の方に、元気よくあいさつしている	前期	63%	27%	8%	2%	43%	40%	12%	5%	25%	47%	23%	5%
		後期	59%	27%	10%	4%	34%	50%	13%	3%	24%	47%	22%	7%
34	どんな大人になりたいかを、家の人と話している	前期	52%	22%	13%	13%	37%	25%	23%	16%	16%	35%	39%	11%
		後期	49%	21%	19%	11%	23%	26%	32%	18%	18%	28%	38%	16%
35	失敗をおそれずにたくさんのことにチャレンジしている	前期	57%	27%	12%	4%	34%	41%	19%	6%	14%	50%	33%	3%
		後期	54%	29%	13%	4%	24%	44%	24%	8%	15%	47%	28%	9%
36	だれにでも思いやりの心をもって過ごしている	前期	57%	29%	11%	3%	44%	46%	7%	3%	29%	59%	13%	0%
		後期	53%	33%	13%	1%	30%	58%	11%	1%	34%	55%	9%	1%
37	自分をふりかえてよりよくしようとしている	前期	55%	31%	11%	3%	35%	44%	16%	5%	24%	50%	25%	1%
		後期	52%	35%	12%	1%	24%	53%	19%	4%	24%	55%	18%	4%
38	学校の行事や取組は、小中一貫義務教育学校の特色を生かしていると思う	前期	68%	22%	6%	4%	45%	42%	11%	3%	41%	52%	7%	1%
		後期	64%	28%	7%	1%	39%	47%	12%	2%	40%	52%	7%	1%
39	教科担任制は、各教科を深く学ぶ機会となっている	前期	68%	25%	4%	3%	47%	43%	5%	5%	38%	56%	5%	0%
		後期	65%	29%	5%	0%	37%	53%	8%	3%	41%	52%	5%	2%

7月に行ったアンケート同様「地域の方や、見守り隊の方に、元気よくあいさつしている。」では、ステージが進むにつれて「あまり出来ていない。」「出来ていない。」の割合が高くなっていました。全体では約8割の生徒が挨拶できていると回答しています。挨拶は他人とのコミュニケーションの第一歩です。学校や地域社会での信頼関係を築くためにも、挨拶は重要だと考えています。また挨拶をすることで、明るく前向きな雰囲気を作り出すことができます。引き続き学校でも生徒たちに挨拶の意義・重要性を声かけしていきます。学校・家庭・地域で生徒が挨拶したときは、すぐに褒めるなどをして、小さな成功体験を積み重ね、自信をもてるようにしていきたいと考えています。

チーム担任制関連の2つの項目では、各ステージに少々のばらつきはあるものの、約8割の生徒が肯定的な回答をしていました。複数の先生が関わることで、生徒はさまざまな指導スタイルやアプローチを経験できたことをよく感じている結果だと捉えています。チーム担任制で生徒をサポートすることで、一人ひとりの生徒に対する個別対応がより充実しやすくなったとも感じています。一方、チーム担任制についての保護者アンケートでは、肯定的な回答が生徒より低くなっており、感じ方・捉え方が違うことがわかります。このギャップをどう改善していくのかについては、校内でも検討し、生徒・保護者にとって、安心できる学校・誰もが幸せな学校をめざしていきたいと考えております。

*** 学校評価アンケート項目 12～29 の『「確かな学力」育成について』『「豊かな心」の育成について』『「健やかな体」の育成について』は4月に行いました全国学力・学習状況調査の結果と関連させて分析を行い、別紙 ＜令和6年度 全国学力学習状況調査分析 及び 学校評価アンケート分析＞にまとめております。そちらもご一読ください。**